

《沖縄協同病院の理念》

- 人権といのちの尊厳を守る、無差別平等の医療を行います。
- 地域と共に平和で健康に暮らせる、まちづくりを行います。



沖縄協同病院・病院広報委員会

那覇市古波蔵4丁目10番55号

TEL.(098)853-1200

FAX.(098)853-1212

http://oki-kyo.jp

発行責任者 仲程正哲

模擬面接の講演会・演習を実施

今回、当院で医療面接を行いました。医療面接は、模擬患者(訓練を受けた患者役)との問診を通して客観的な患者対応能力を向上させるトレーニングです。

岐阜から模擬患者ボランティア奥村純子さんを招いて、さる6月8日夜に講演会、6月9日に演習を行いました。少数の指導医と学生時代に模擬面接を経験している若手医師を除くと「模擬患者?何それ?」状態の当院へ「全職員が良質なコミュニケーション技術を習得する方法」の種まきができました。高難度のシナリオに全力で取り組んでくれた1年目研修医の面接技術には、正直舌を巻きましたし、良い点を中心に指摘しつつ『自分達の面接を振り返って大きな学びになった』とコメントされた指導医集団を改めて誇りに思いました。



心療内科 小松知己

心療内科 小松知己

研修医1年目の前川達哉です。今回は医療面接のトレーニングを岐阜大学の奥村先生をお呼びして行いました。医療面接は学生のOSCE(オスキー)でも取り組まれておりますが、録画しながら先生方の前で問診するのはさすがに少し緊張しました。模擬患者役の奥村先生の演技は、本当に本番さながらの雰囲気でした。次回の撮影までにスタートの頃自分を笑えるくらいに成長していることを楽しみにしています。有意義な時間をありがとうございました。

研修医 前川達哉



「お互いの顔の見える連携」を!

去る6月21日、沖縄ハーバービューホテルにて、地域医療機関や介護施設との「顔の見える連携」を目指し「沖縄協同病院地域連携懇話会」が開催されました。地域医療機関の皆様からは263名の参加があり、総勢356名の方々が交流を深めました。



仲程正哲院長の挨拶に始まり、来賓の県医師会宮城信雄会長、南部地区医師会名嘉勝男会長、那覇医師会真栄田篤彦会長からご挨拶をいただきました。続いて、伊泊広二副院長の医療活動報告、各部長先生による診療科の紹介ではそれぞれの人柄がにじみ出て、会場を始終あたたかい雰囲気にしていただきました。

長時間の立食形式にもかかわらず、各テーブルとも、会話が弾んでいたのは、幸喜先生の流麗なピアノ演奏や澤紙先生の味のある三線、勇壮なエイサー演舞が懇親に花を添えたのも大きかったかと思われま。

参加した地域の医療機関の方々から「たくさんの医療関係者と会話できて良かった。」との声をいただき、お互いに身近になれる良い機会を提供できたかなと感じられました。

今後も患者様のベストな環境を提供するために、地域の医療機関とスムーズな連携を進めていけるよう職員一同、頑張っていきたいと思ひます。

地域連携課長 宮城淳

総務課長就任のあいさつ



はじめまして。6月1日付で総務課長に就任しました平良顕治と申します。

総務課は各部署・各場面で手続きや調整を行い、病院の運営を円滑に進めることが重要となる後方支援業務が主となります。

総務課長として、組合員の皆様や病院のお役に立てるように精進してまいりますのでご指導・ご鞭撻をよろしく願ひいたします。

総務課長 平良顕治

病院の活動状況 <5月度>

- ・外来一日平均患者数: 783人(前年同月比-7.1%)
- ・入院一日平均患者数: 267人(前年同月比-3.1%)
- ・組合員利用率: 52.8%(前月比+0.1%)

海洋生物による皮膚障害・海水浴皮膚炎

皮膚科



痒みが強い場合には炎症の度合いによりステロイド含有外用薬が必要です。皮膚科 山城栄津子

海水浴皮膚炎の好発部位は水着で覆われた皮膚です。痒みの強い発疹が主症状で部分的に集中して小さなぶつぶつができることが多いです。こういったところで刺されるのかという比較的波の穏やかな海岸も多いと思われま。

あまり有効な予防法はないのですが、水着の素材を化繊などのすべすべしたものにする、ゾエアが付着しにくいと言われています。対処法は、海水浴中に「チクチク」とした違和感を感じたら早いうちに流水で洗い流します。肌のでいているところだけではなく水着の中も忘れないように。

海水浴後強い痒みを伴う発疹が出ることがあります。か?クラゲによる皮膚炎も有名ですが、プラנקトンによる皮膚炎も比較的多くみられる皮膚症候です。プラנקトンとは海中に浮遊するものをプラנקトンと総称するが、その中でもっとも多いのがゾエアといわれるカニやエビなど甲殻類の幼生です。



海水浴後強い痒みを伴う発疹が出ることがあります。か?クラゲによる皮膚炎も有名ですが、プラ



画:内科医 上原和博



平和行進の通し行進者の感想

6月17日～6月23日 名護→糸満→那覇

今年の平和行進は台風のために行進3日目が休みになるなど、ハプニングがありました。通し行進者全員が無事で全日程を終えることができ、良かったです。

普段の生活の中では、あまり平和ということ意識していませんでしたが、この行進を通して様々な歴史の積み重ねで今の平和があるということを知りました。
総務課 新垣駿

皆さんのサポートのおかげで無事平和行進を歩き終ることができました。

行進前はみんなに「絶対辛い」と言われていたのですが、終わってみると全然辛い事はなく、楽しく、充実した毎日をご過ごすことができました。

今後も積極的に平和について学ぶ姿勢を持ち、行動していく事で今回の活動をより意味のあるものにしていけたらと思います。

リハビリ室 鳥取申太郎



左から新垣駿、山里健、鳥取申太郎

出発式では、辺野古で座り込みを続ける、91歳の嘉陽のおじいも参加していました。おじいから、「二度と戦争を起こさないよう私は頑張ってきた。君達も頑張ってきた。君達も頑張ってきた。」と激励の言葉を貰いました。

暑い日差しのなか、1週間の平和行進はスタートしました。私は体力に自信がありません。途中で何度もめげそうになりましたが、一緒に歩いた行進団員に励まされ、歩き終ることができました。行進団員は皆熱いナイスガイでした。毎晩「夜の平和行進」で酒を酌み交わしながら、平和についても本気で話し合いました。そんな熱い人達に引っ張られて行進をしました。

実際に基地の側を歩いてみると、広大な土地を米軍基地にとられている事が実感できました。普天間基地周辺を歩いた時には、ヘリや戦闘機が低空飛行を繰り返していました。沖国大にヘリが墜落しても、この光景はまだ変わりません。行進していて、沖縄の自然の美しさも再確認する事ができ、この土地を守りたいと本気で考えるようになりました。

行進中はたくさんの方々々と交流する事ができました。医療生協石川支部の伊波さんや、支部の方々には盛大な歓迎を受けました。行進をサポートしてくれた各団体の方々とも話をする機会がありました。行進団の皆と歩いた1週間、私にとって大切な思い出になりました。本気で楽しかったです。

5階病棟 山里健



虹の箱とは患者さまの声を医療活動に反映させていくための投書箱です。

ご意見・ご要望

4階、小児科へ子供が夜間入院になり、急な為、オムツ、ミルク、ひえピタ必要なのに、主人は仕事で家族も近くにいないで大変でした。

ぜひ、小児科にオムツやミルクの販売機を置いて欲しいです。不便です。南部医療センターには、いろんな物品の販売機があります。お願いいたします。

アイスも必要です。くすりを飲ますときに……

投書者：女性（35才）

ご返事

ご指摘いただきありがとうございます。

夜間の急な入院時は、必要な物品が手に入らず、たいへん不安な思いをなされた事と思います。最低限の物品だけでも購入が出来る様、4階病棟へ自動販売機が設置出来ないか検討いたします。

4階病棟師長 玉城和美

消防訓練について

2011年3月11日に東日本大震災が発生し、それを機に防災に対する関心が高まってきました。手術室では独自の防災訓練がありませんでした。このままではいけない！手術室も震災に対する意識を高めなければ！と防災委員会を立ち上げました。一からマニュアルを作り、試行錯誤を繰り返しながら防災マニュアルやシナリオを作成し、防災訓練を実施するに至りました。



訓練当日は初めての試みにスタッフがどう反応するのか、不備が多く訓練にならなかったらどうしよう…と不安でたまりませんでした。麻酔科医、各科先生方、管理会の皆様、施設課長、放射線技師など多くの職種の方から援助が得られ、スタッフも真剣に取り組んでくれました。実際に停電にさせ演出にもこだわり、その様子も4台のカメラで録画し、訓練後に客観的に観ながら振り返りをし、お互いの意識を深めることができました。

手術室防災委員 高橋結、鳥袋香織

おきなわの自然

ンスナバー(フダンソウ)

還暦が他人事ではない年齢になった。時々半世紀も前の生活の様子を思い出す。馬小屋があり、山羊小屋があり、豚小屋があった。庭ではアヒルたちが騒ぎ、家の中ではツルとウシ(オバー)がユンタクしていた。

豚小屋の裏の畑には豚の餌用のンスナバー(フダンソウ)が植えられていた。ンスナバーは巨大な野菜で、成長したのから順次欠いて収穫するので豚の餌には困らなかつた。茎と葉っぱを手で引きちぎって分け、沸騰したシンメーナービに茎から先に茹でた。たまにはそれを取り分け、アングカシー(豚脂を絞ったカゴと豆腐と味噌を入れて人間の食事(ンスナバー、ソシ)を作った。ンスナバーの「ソス」は味噌なので直訳すると味噌菜っ葉。ソフシー(味噌味の煮物)が一番おいしい。

今は赤・黄・オレンジ色のカラフルなスイスチャードというしゃれた名前のンスナバーが出回っているが、昔のンスナバーに勝るものはない。

ンスナバーの和名はフダンソウ(不断草)。寒さに強いので本土でも古くから食されていたようだ。不断草は通年栽培できるからと収穫期間が長いことが由来らしい。

さて、政府は「沖縄の負担軽減、危険除去」と言いながら、「未亡人製造機」の普



天間配備を強行しようとしてる。言うこととやることとがこんなに違うとあざわらう。沖縄にはンスナバー、ソシヤナ、ソム等、「ソ」から始まる言葉が多いので「ソシヤナ」はいつまでも終わらない。が、日米両政府の沖縄に対する占領意識はもう終わりにしてほしい。オスプレイ配備は「ソメー」(祖母)から「ソマガ」(孫)まで「ソ」(皆)反対だ。

とよみ生協病院 事務課長 金城稲子